

令和6年度 安来市地域包括支援センター事業評価

【評価対象期間】

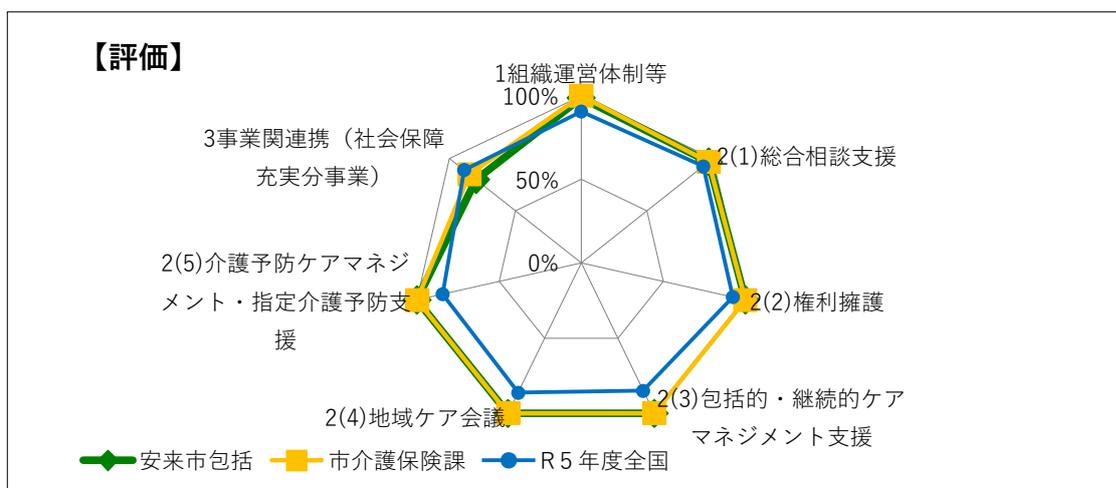
令和6年4月1日～令和7年3月31日

【評価方法】

- ①地域包括支援センターによる自己評価
- ②介護保険課によるヒアリング
- ③介護保険課による最終評価
- ④運営協議会において報告（意見聴取）

【評価集計】

項目	安来市包括	市介護保険課	R5年度全国
1組織運営体制等	99%	100%	91%
2(1)総合相談支援	97%	97%	93%
2(2)権利擁護	100%	100%	92%
2(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援	100%	100%	85%
2(4)地域ケア会議	100%	100%	86%
2(5)介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援	100%	100%	84%
3事業関連携（社会保障充実分事業）	80%	85%	89%



(安来市介護保険課)

【総括】

総合相談支援業務では、内容が年々複雑化、複合化する中で、終活に関する相談や身寄りのない方の相談ケースも増えており、関係機関と連携し相談者に寄り添った支援が行われている。

介護予防事業では、継続してこけないからだ体操の普及に取り組み、目標とした5地区での立ち上げを達成されたほか、新事業として後期高齢者のフレイル全数調査を実施され、市内のフレイルの実態把握に努められた。

地域ケア会議においても自立支援型ケアマネジメント会議や校区別地域ケア会議による意見聴取で地域課題を抽出し、3月の地域ケア推進会議では政策の提案がなされ、市の介護予防事業の見直しにつながった。

認知症対策では、オレンジフェス、認知症講演会など市民向けのイベントの開催のほか、認知症当事者の集いの場の開催など他市町村の参考となる取り組みができています。

全国との比較ではほとんどの分野で平均を上回っており、継続して高い水準を保っている。

令和6年度安来市地域包括支援センター事業評価

<4段階評価> 4:大変よくできている(○が4) 3:ある程度できている(○が2~3) 2:あまりできていない(○が1) 1:まったくできていない(○が0)

1. 組織・運営体制等

(1). 組織・運営体制

NO.	指標	包括評価	回答	市評価
1	市町村が定める運営方針の内容に沿ってセンターの事業計画を策定しているか	4	市との委託契約書に記載されている。	4
2	事業計画の策定に当たって市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合これを反映しているか	4	市との連絡会、包括職員会で協議している。内容に関する協議事項を議事録に残している。	4
3	市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか	4	市町村からの支援・指導があった都度業務改善を図っている。	4
4	市町村が設置する定期的な連絡会合に毎回出席しているか	4	毎月市との連絡会に参加している。	4
5	市町村から担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか	4	提供を受けている情報:市との連絡会で情報提供を受けている。 (1, 2, 3, 4, 5) 社会資源情報の見直しを行っている	4
6	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか	4	総合相談より把握、相談管理システム(ゆめと)に記録している。各センターの機能を特化し、会議にて業務の検討を行っている。	4
7	三職種を配置しているか(準ずる者は含まず)	4	三職種のうち正職員の比率:36% 三職種12名(主任介護支援専門員3名、保健師等5名、社会福祉士4名) 主任介護支援専門員(包括ひろせ2名、包括やすぎ1名) 保健師等(包括ひろせ2名、包括やすぎ1名、包括はくた2名) 社会福祉士(包括ひろせ2名、包括やすぎ1名、包括はくた1名)令和7年3月末	4
8	市町村から年度当初までにセンター職員を対象とした研修計画が示されているか	4	市より研修計画が示されてる。	4
9	センターに在籍する全ての職員に対して、センター又は受託法人が職場での仕事を離れての研修(off-JT)を実施しているか	4	OJTやオンライン研修に努め、研修報告を共有している。	4
10	夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか	4	緊急案件に対して転送し携帯で対応している。パンフレット、ホームページで周知している。	4
11	平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか	4	休日相談を実施(月1回)実績12回 時間外での対応数:電話389件、訪問19件、来所29件	4
12	パンフレットの配布などセンターの周知を行っているか	4	パンフレットを作成し民生委員、包括主催の研修会、ほっとサロン等で周知している。内容を見直し、QRコードからホームページへアクセスできるようにした。	4

(2)個人情報の管理				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
13	個人情報保護に関する市町村の取扱い方針に従ってセンターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか	4	市町村・社協の規定に従い、個人情報の管理を行っている。取得・開示が必要な場合には協議を行っている。	4
14	個人情報が漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を各職員へ周知しているか	4	社協規定・規則、個人情報保護規定にある。包括ホームページにプライバシーポリシーを記載している。事故・ひやりはつと報告書を作成した。個人情報の取り扱いについて定期的に報告している。	4
15	個人情報の保護に関する責任者を配置しているか	4	責任者をセンター長、副責任者を正規職員とし、契約書に記載している。	4
16	個人情報の持出・開示時は管理簿への記載と確認を行っているか	4	職員はカギ付きかばんを使用し、個人情報時間外持出申請書を作成している。	4

(3)利用者満足度の向上				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
17	市町村の方針に沿って苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか	4	契約書に記載している。 苦情受付:実績21件(うち、包括への苦情は12件)。 毎年市、国保連へ提出している。包括内で共有している。	4
18	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか	4	職員会、市との連絡会で共有し報告、協議を行っている。	4
19	相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿って、プライバシーが確保される環境を整備しているか	3	十分ではないが、相談時プライバシーに配慮した環境整備に努めている。	4

2. 個別業務

(1)総合相談支援業務				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
20	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか	3	名簿により関係機関の把握はできている。 総合相談支援事業業務委託事業所連絡会(令和6年6月14日)、校区别地域ケア会議等(年4回)で把握している。	3
21	相談事例の終結条件を市町村と共有しているか	4	国の評価例より終結条件を市町村と協議し紙面で管理し共有している。	4
22	相談事例の分類方法を市町村と共有しているか	4	毎月市へ報告している。	4
23	1年間の相談件数を市町村に報告しているか	4	実数:1,177人 延べ数:6,102件 緊急性については包括内で検討し判断している。	4
24	相談事例の解決のために市町村に支援を要請し、その要請に対し、市町村から支援があったか	4	毎月連絡会等で確認、包括内、コアメンバー会議等で検討している。相談ケースや個別地域ケア会議等で連携し対応している。	4
25	家族介護者からの相談について相談件数や相談内容を記録等に残してとりまとめているか	4	家族・親族からの新規 相談受付件数:271ケース(実数)	4
26	介護、子育て、障がい等、複合的な課題を持つ世帯への相談対応を行っているか	4	複合的な課題をもつケースへの 対応件数:6,555件(延べ数) 関係機関に連絡や連携し対応している。	4
27	介護、子育て、障がい等、複合的な課題を持つ世帯への相談対応について内容を整理して複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容を把握するようにしているか	4	相談管理システム(ゆめと)にて把握している。 複合的な課題をもつケース:847ケース(実数)	4

(2) 権利擁護業務				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
28	成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準が、市町村から共有されているか	4	成年後見制度の相談件数(実数):20件 延件数269件 安来市成年後見制度における市長申立てに関する要綱あり、総合相談で把握している。	4
29	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて市町村と共有しているか	4	各包括にマニュアルがあり共有し対応している。 ケースについてコアメンバー会議等で共有している。 高齢者虐待実数:29件、延べ数:366件	4
30	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか	4	R7年2月虐待対応専門職チーム会議を開催した。 警察からの通報、相談、問い合わせ等に対し連携、対応し経過記録に残している。 包括専用携帯に連絡先として関係機関の連絡先を登録している。	4
31	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上対応しているか	4	市との連絡会、見守り団体等連絡会で定期的な情報交換している。相談時連携し記録を残し共有している。	4
32	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取り組みを行っているか	4	見守り(気づき)シート等を活用し、サロン等での配布やホームページや包括レターなどで周知している。	4
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
33	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握しているか	4	市内事業所数を把握し介護支援専門員及び主任介護支援専門員の人数を把握し、紙面・データで整理している。	4
34	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会の開催計画を策定し年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか	4	介護支援専門員対象の研修等、年間計画を策定し市と共有の上、年度初めに居宅介護支援事業所にも文書で示している	4
35	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか	4	随時、介護支援専門員から電話、メール等で相談を受けた事案の検討会を行い、地域ケア会議につないでいる。	4
36	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか	4	安来市在宅医療支援センター主催の意見交換会、在宅医療介護連携推進事業合同連絡会、安来市主催安来市健康推進会議、市町村等在宅医療連携推進担当者会議等に参加。また、介護支援専門員協会を絡めての医療機関医師等との意見交換に参加し連携を図っている。	4
37	介護支援専門員が円滑に業務を行うことが出来るよう地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか	4	ほっとサロン等や出前講座の講師として地域に出かけ介護予防等について伝えている。 ・ほっとサロン・・・11件 ・学生(中学生)・・・2件	4
38	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか	4	ケアマネジャーから包括への相談・情報提供様式(シート)を連携ツールの1つとして活用し対応している。整理分類し市へ報告している。	4

(4) 地域ケア会議				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
39	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか	4	個別地域ケア会議、校区別地域ケア会議、ケアマネジメント支援会議等を通じて出た地域課題から抽出し議題としてテーマ設定している。また、テーマに合わせた地域ケア会議の参加者を決定し参加案内している。	4
40	センター主催の地域ケア会議の運営方針をセンター職員・会議参加者・地域の関係者に対して周知しているか	4	地域ケア会議開催時に、参加者に文書配布し、紙面で周知している	4
41	センター主催の地域ケア会議において個別事例について検討しているか	4	地域課題について、検討し地域ケア推進会議のテーマに関連付けている。 個別ケアについて検討する地域ケア会議の開催回数：20回 地域ケア会議で検討した個別ケースの実件数：17件 ※自立支援型ケアマネジメント会議を除く 関係機関に対して目的など案内文・会議の前に説明している。	4
42	センター主催の地域ケア会議において個別ケースの課題分析等を積み重ねることにより地域課題に関して検討しているか	4	校区別地域ケア会議、地域ケア推進会議につなげ検討している。	4
43	センターの主催により、地域づくり・資源開発若しくは政策の形成の機能を持つ地域課題を検討する地域ケア会議を開催しているか	4	校区別地域ケア会議、地域ケア推進会議を開催し、市への政策提案をしている。	4
44	センター主催の地域ケア会議において多職種と連携して自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い対応策を講じているか	4	リハ職、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、臨床心理士、主任介護支援専門員、行政職員等アドバイザーとして参加を受けて、生活支援コーディネーターの参加も受けて地域課題や自立支援に向けた事例検討を行っている。	4
45	市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか	4	個別地域ケア会議に於いて参加者には個人情報保護のための誓約書、対象者には個人情報使用同意書をとっている。	4
46	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか	4	議事録を作成し、市と共有している。	4
47	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか	4	自立支援型ケアマネジメント会議(概ね半年毎に評価報告会を行っている) 個別地域ケア会議後、定期的にモニタリングを行い市とも共有している。	4
48	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを市町村に報告しているか	4	検討事項の結果をまとめ運営協議会で報告している。	4

(5)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
49	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針をセンター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか	4	市より基本方針を示し把握している。 安来市ケアマネジメント基本方針が安来市ホームページに掲載・周知されている。	4
50	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランについて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか	4	社会資源情報誌を作成し把握している。社会資源情報を活用して必要時プランに位置づけ、ケアプラン支援経過に残している。地域へ必要時つなげている。生活支援コーディネーターに社会資源情報誌を提供し、記載情報の再確認と改定に向けた協力をお願いしている。	4
51	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか	4	障がい者福祉・介護予防BOOKを活用している。こけないからだ体操・通所サービスCを通じてセルフマネジメントを推進している。実施状況は市と共有している	4
52	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか	4	契約書に示されており実施している。	4
53	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか	4	委託をする場合、理由や経過等含め中立公正に選定し相談管理システム(ゆめと)に入力し共有している。委託したケアプランの達成状況等は3ヵ月、6ヵ月、変更時等、適時帳票の提出を依頼しセンター内で確認を行っている。基幹センターで保管管理、評価を行っている。	4

3. 事業間連携(社会保障充実分事業)

(1)在宅医療・介護連携				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
54	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか	3	介護保険課主催の会議、在宅医療支援センター主催の合同勉強会に参加している(令和6年10月)。	3
55	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか	4	令和6年開催の研修会に3名出席。市役所・在宅医療支援センター・ケアマネ協会と合同連絡会に参加。 共同開催については提案のみ行った 在宅医療支援センターが講演会やアンケートを実施する際の相談に乗っている。	4
56	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか	2	在宅医療支援センターは個別ケースは対応していない。 総合相談のケースに対し各医療機関に本人・家族の了解を得たうえで情報提供を行った。	2
(2)認知症高齢者支援				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
57	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか	3	包括支援センターから認知症地域支援推進員に対象と思われるケースを適宜紹介、同行訪問した。 長谷川式認知症スケール MMSEを実施した。 令和5年度実施。令和6年度は見直しをしていない。	4
(3)生活支援体制整備事業				
NO.	指標	包括評価	回答	市評価
58	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか	4	生活支援コーディネータに校区別地域ケア会議等に参加してもらっている。校別地域ケア会議で出た課題について検討している。	4

4. 安来市指定事業

NO.	指標	包括評価	回答	市評価
59	安来市指定事業を適切に実施しているか	4	全て実施している。	4